

GT CP
PRODUCE



2014 Regulations Book



イメージキャラクター「スピードバード」

www.gt-produce.com

『2014 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1

【大会規則】

昨年からの変更点は**赤色**で記載してあります。(開催日程以外)

開催日程	K耐久／GT耐久 共通				
		開催日時	決勝時間 K／GT	申込受付期間	早割適用入金期限
	第1戦	3月23日(日)	3H/3H	2月17日～3月3日	2月24日着金迄
	第2戦	5月18日(日)	3H/3H	4月14日～4月28日	4月21日着金迄
	第3戦	7月13日(日)	3H/4H	6月9日～6月23日	6月16日着金迄
	第4戦	9月28日(日)	4H/3H	8月25日～9月8日	9月1日着金迄
	第5戦	11月30日(日)	3H/3H	10月27日～11月10日	11月4日着金迄
	・開催場所は全て「スバ西浦モーターパーク」。 ・決勝前に約15分のフリー走行あり。 ・早割りは、入金期限の期日までに指定口座に着金がないと認められません。 ※ K耐久とGT耐久で、どちらが午前・午後になるかは公式通知にて発表となります。				
参加資格	1. 有効な普通自動車免許の所有者であること。 2. 主催者が認めるドライバー。				
参加申込	1. 申込受付期間 上記、開催日程の欄に記載された申込受付期間内に下記の要領で申し込むこと。 ※指定ピットの位置は、申し込みが成立した順で、申込書に希望した側から割り振る。 ※申込期間よりも前に申込書が到着した場合は、受付初日の正午の申込み順でピット位置を割り振る。 ※他チームと隣り合わせのピットを希望する場合は申込書に記載すること。この場合、後から申し込んだ方のチームの順番で、ピット位置を割り振る。 2. 申込方法 ①必要書類(「参加申込書」と「車両申告書」)に必要事項を記載の上、下記の「GT走行会運営事務局」まで郵送、FAX、またはe-mailで送付すること。 ※必要書類は公式HPよりダウンロードするか、事務局までご請求下さい。 『申込先』 〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東14-17 (株)GT CARプロデュース内「GT走行会運営事務局」宛て FAX : 0538-37-6678 e-mail : info@gt-produce.com ②参加費用を参加申込書送付から3日以内に銀行振込で送金すること。 『振込先』 浜松信用金庫 磐田支店 普通 098186 口座名義 カ)ジーティーカープロデュース ※チーム代表者名と別名義で入金する場合は、申込書の所定の欄にその旨を記載すること。 ※振込手数料は参加者負担とする。 3. 申し込みの成立 必要書類到着と、参加費用の入金をもって申し込みが成立する。募集台数に達した場合は、正式申し込みの順にて受理する。(募集台数K耐久38台、GT耐久32台) 4. キャンセルについて ・申込期間中のキャンセルは事務手数料1,000円を差し引き返金する。 ・受理書発送後から、大会前前日までのキャンセルは半額を返金する。 ・大会前日以降のキャンセルはできない。(リタイヤ扱いとなる) ・キャンセルの場合、エントリー代の次戦繰り越しは出来ない。				
参加費用	K耐久／GT耐久共通				
		ロールケージ装着車両	ロールケージ未装着車両		
	決勝3時間の場合	47,000円(消費税込み)	52,000円(消費税込み)		
	決勝4時間の場合	62,000円(消費税込み)	67,000円(消費税込み)		
	※決勝時間によって参加費用が変わるので注意すること ※ロールケージの装着を強く推進するため、装着の有無で参加費の差を設ける ※ロールケージ装着義務付けのクラスは、未装着では参加できない ただし下記の各種割引あり。 ① 早割り … ▲1,000円割引 早割適用入金期限(開催日程欄参照)迄に申し込みと指定口座への着金が完了した場合に適用。 (入金期限日までに振込みを完了しても、着金がなされないと認められないので注意すること) ② 学割り … ▲2,000円割引 大学、専門学校の自動車部・サークルのチームに適用。参加車両名に必ず学校名を入れ、ドライバー2名以上が在校生であること。 ③ レディース割り … ▲10,000円割引 ドライバー全員が女性のチームに適用。(ドライバーの人数は問わない。ドライバーが男女混合のチームには適用されない)				
参加人数	全戦とも1チームあたり2～6名までのドライバーとする。 ※登録してあるドライバーであれば運転の順番・回数は自由とする				

クラス分け	1) K耐久(軽自動車) 下表の通り5つのクラスに分けられる			
		ノーマルクラス (ほとんど改造が出来ないクラス)	クローズドクラス (改造範囲の狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の広いクラス)
	NAエンジン	KNNクラス ※1	KNCクラス ※2	KNOクラス
	過給機付きエンジン	-----	KTCクラス	KTOクラス
	※1・・・KNNクラスには、東北NA660選手権のクラス2またはクラス3のレギュレーションに合致した車両がエントリーすることが出来る。ただし使用出来るタイヤについては、当シリーズのレギュレーションに従うこと。 ※2・・・KNCクラスには、東北NA660選手権のクラス1またはクラス4のレギュレーションに合致した車両がエントリーすることが出来る。ただし使用出来るタイヤについては、当シリーズのレギュレーションに従うこと。			
	【補足事項】 ・全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。 ※ただし、東北NA660選手権のレギュレーションで参加する車両は、東北NA660選手権の規則に従うこと。 ・全クラスとも新規格軽自動車はハンディーをもらえる。ハンディーの詳細は「ピットハンディー」の項を参照のこと。 ※東北NA660選手権のレギュレーションで参加する車両にも、新規格軽自動車ハンディーは適用される。 ・ノーマル、クローズド、オープンの分けについては車両規則を確認のこと。			
	2) GT耐久(普通車) 下表の通り4つのクラスに分けられる			
		クローズドクラス (改造範囲の狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の広いクラス)	
	1000cc 以下のNA車	1Cクラス	OPクラス	
	1001cc～1500cc のNA車、 1200cc 以下の過給機付車、 1501cc～1600cc のNAの後輪 駆動車	2Cクラス		
	1501cc 以上のNA車 1201cc 以上の過給機付車	3Cクラス		
	【補足事項】 ・全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。 ・「1Cクラス」と「2Cクラス」は、まとめて「1+2Cクラス」として表彰する。 ただし1Cクラス該当車については、ハンディーをもらえる。ハンディーの詳細は「ピットハンディー」の項を参照のこと。 ・ロータリーエンジンの排気量は、1.0倍換算とする。 ・ハイブリッドカーの排気量は、1.0倍換算とする。 ・クローズド、オープンの分けについては車両規則を確認のこと。 ・以下の車両は量産箱型車と著しく性能差があると判断し、エントリー出来ない。 ロータスエリーゼ、エクシージ等 箱型(モノコックフレーム)でない車両・・・スーパーセブン、ザウルス等 その他主催者が上記に属すると判断した車両			

『2014 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1

フリー走行／予選	<ul style="list-style-type: none"> ・決勝前に約 15 分のフリー走行を行ない、ラストの 5 分で予選を兼ねたタイム計測を行う。 ・フリー走行中のピットインおよびドライバー選定は自由。 ・助手席への同乗走行が認められる。ただし同乗者はドライバーと同一の装備で乗車すること。 ・フリー走行終了後は、ピットロードの指定ピット前に戻り待機すること。 ・決勝までの間の給油は許されるが、給油のルールを守ること。
グリッド順	<ul style="list-style-type: none"> ・予選で計測したベストタイムの順に決勝グリッドに並ぶ。 ・予選結果はフリー走行終了後間もなく、掲示板やピットの柱に掲示される。 ・予選でタイムを残せなかった場合は、タイムの残った最下位の車両の後ろのグリッドとなる。 ・グリッドは2×2(ツーバイツー)を使用する。1位のチームが最前列右側、2位が最前列左側、3位が2列目右側、4位が2列目左側、(以下同順)……、という順番となる。 ・グリッド表は発行されないため、タイム計測結果から、自チームが何列目のどちら側か計算してグリッドに着くこと。
スタート方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 予選結果が発表されてから間もなく、ピットロード出口シグナルの緑灯が点灯したらコースインを開始し、コースを1周回ってグリッドに着く。 ピットロード出口のシグナルはグリーンになってから約2分後に赤となる。この間にコースイン出来なかった場合はピットスタートとなる。ピットスタートの場合はグリッドスタートの車両よりも(フォーメーションラップが無い分)周回数が1周少なくなることを承知すること。 ② チーム員はグリッド上に出て自チームの車を誘導すること。 グリッド上では後退ギヤの使用は禁止する。(必要時は人力で後退させること) ③ 3分前ボード提示…ドライバー、オフィシャルを除く全ての者はコース上から退去する。 レーススタートまでの間はプラットホームおよびピットロードへの入場は禁止となる。 ④ 1分前ボード提示…ドライバーは車両に着座した状態でエンジンを始動する。 ⑤ フォーメーション開始…メインポストでグリーンフラッグが振られたら、セーフティカー(以下SCと記す)に先導されながら順列を保ったまま1周する。 <ul style="list-style-type: none"> ・フォーメーションラップ中は前車との間隔を1～2車身に保つこと。間隔があまりに開く場合はペナルティを課す。 ・SCがピットインしたら競技開始となる。コントロールラインを通過するまでは、前車を追い越してはならない。
ピットアウト方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ピットロード出口シグナルの、赤灯が点灯しているときはコースインしてはならず、緑灯が点灯している時のみコースイン可とする。 ・コースインの際は、ストレート合流部右側に書いてあるホワイトラインを踏んではならない。ホワイトラインを踏んだ場合はペナルティを課する。 ・コースイン直後は、第2コーナー出口に達するまではコース左側ラインに沿って走行すること。その間後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。
ピットイン方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ピットインする車両は、45Rを過ぎたら8番ポスト前でコース左側に車両を寄せ、安全を確認してからピットロードに進入しなければならない。 ・ピットインする際には、8番ポスト先に書いてあるホワイトラインの実線を踏んではならない。ホワイトラインを踏んだ場合はペナルティを課する。(ホワイトラインの点線部は踏んでもペナルティとならないが、ピットインの際は点線部を踏まないように早目にコース左側に寄ること) ・セーフティカー(以下SC)が導入される際には、SCボードの提示と同時に、ピットロードは一旦クローズされてピットイン出来なくなる。8番ポストでは「SC」ボードと同時に「CLOSED」ボードが提示される。 ・SCが暫定1位車両の前に入った時点で、ピットロードは再びオープンとなり、ピットイン可能となる。このタイミングで8番ポストでは、「SC」ボードと同時に「OPEN」ボードを提示する。
ピットロード	<ul style="list-style-type: none"> ・ピットロードの制限速度は40Km/h以下とし、違反した場合はペナルティが課される。 ・ピットガレージ前の部分(ピットレーン)は次の2つに区分される。 <ol style="list-style-type: none"> ① 走行レーン ～ メインストレート側のアスファルトの部分。ここはピットインおよびピットアウトの際に走行を行う区域である。 ② 作業レーン ～ ピットガレージ側のコンクリートの部分。ここは、ピット作業のための部分であり車両停車を行う区域である。 ・ピットロードに進入した車両は走行レーンを走り、自己ピットの出来るだけ近い位置で作業レーンに入ること。 ・義務ピットインの際は、21番ピットの作業レーンに停止してタイムカードをもらうこと。タイムカードを受け取った後は、一旦走行レーンに戻ってから自己ピットまで移動すること。 ・ピットレーンでは後退ギヤの使用は禁止され、違反に対してはペナルティが適用される。 ・ピットアウトしようとする車両は、走行レーンを走っている車両に優先権があることを承知していなければならない。

『2014 K耐久/GT耐久東海シリーズ』 大会規則/安全規則 Ver.1

ピット作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ピットには水の入ったバケツを置いておくこと。(参加車両1台につき1個のバケツ) ・作業が長時間に及ぶ場合は、車両を屋根下ピットに入れて作業すること。 ・ピットを水浸しにするような行為は、出火時等の緊急時を除いては慎むこと。 (ラジエター、タイヤ等を冷却したい場合は噴霧器を使用すること) ・ピットストップ時間に余裕がある場合、人力で車両を動かして(退出し易い)車両の向きに変えることが許される。ただし指定ピット付近から移動してはいけない。 ・ピットロード、プラットホームでは以下の行為は危険なため禁止とする。 ① 傘の使用(日傘含む) ② ハイヒールの着用 ③ カカトの無いサンダルの着用 									
義務ピットイン、作業ピットイン	ピットインの種類は大きく分けて、『義務ピットイン』、『作業ピットイン』の2つに分けられる。 1)『義務ピットイン』について <ul style="list-style-type: none"> ・決勝スタート後 20 分前、チェッカー予定時刻の 20 分前まで(※1)の間に、下表の回数の『義務ピットイン』を行わなければならない。『義務ピットイン』時は全ての作業を行うことができる。 <table border="1" data-bbox="438 548 1428 645"> <thead> <tr> <th></th> <th>決勝 3 時間の場合</th> <th>決勝 4 時間の場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本の義務ピットイン回数</td> <td>4回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>ハンディー軽減対象車両のピットイン回数 ※1</td> <td>3回</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 次項「ピットハンディー」を参照のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『義務ピットイン』時は、3分のピットストップをしなければならない。 ・『義務ピットイン』時の、ルールおよびピットストップ時間の計り方は以下の通りとする。 <ol style="list-style-type: none"> ① ピットロードに入り管制塔前を通過したら左側の作業レーンに入り、21番ピット前にいる「オフィシャル(タイムカード発行員)」のところで停車する。 ② 21番ピット前のタイムカード発行員のところに止まった時間を“PITイン時刻”とする。 ③ “PITイン時刻”を書いた「タイムカード」をオフィシャルが発行し、ピットイン車両のドライバーに渡す。 ※「タイムカード」を受け取らなかった場合は『義務ピットイン』回数としてカウントされない。 ※「タイムカード」を受け取らずに自己ピットまで行った車両については、後から「タイムカード」を受け取りに来ても発行はできない。 ※タイムカード発行員がいるのは、決勝スタート後 20 分前、チェッカー予定時刻の 20 分前までである。 ※「タイムカード」待ちの車両が渋滞していた場合でも、自身の車両がタイムカード発行員のところに到達した時間が“PITイン時刻”となる。 この箇所が渋滞していたために発行時間が遅くなったことについてのクレームは一切受け付けないので、チームで作戦を立ててピットインの指示を出すこと。 ④ 「タイムカード」を受け取った車両は、自己ピットに向かう。(自己ピットの位置は、受理書送付と同時に案内される) ⑤ 自己ピットに停車したら、近くにいる「オフィシャル(ピット審判員)」に「タイムカード」を渡す。 ⑥ 「タイムカード」を受け取ったピット審判員は、「ピットアウト時刻」を車両右フェンダーのシール(雨天時はフロントガラス内側の用紙)に記入する。 「ピットアウト時刻」=「ピットイン時刻」+「3分」となる。 ⑦ 「ピットアウト時刻」が来たら、指定ピットからスタートすることが出来る。この時、ピット審判員はフライングが無いか確認するだけで、スタートの指示はしない。 ⑧ フライングが確認された場合はペナルティを課される。 ただし10秒以上のフライングを行った場合は、その回のピットインは『義務ピットイン』とは見なさない。 ・ピットロードクローズド時に誤ってピットインして来た車両は、『義務ピットイン』は使えず(タイムカードは渡されず)『作業ピットイン』扱いとなる上に、ペナルティが課される。 ※1 決勝スタート 20 分後から、チェッカー予定時刻の 20 分前までの間に「タイムカード」をもらうこと。タイムカード発行員はこの時間帯しか配置されないため、この間にタイムカードをもらい、所定の回数の「義務ピットイン」(「義務ドライバー交代」)を履行しなければ失格となる。 2)『作業ピットイン』について <ul style="list-style-type: none"> ・『作業ピットイン』とはピットストップ時間が自由な(タイムカードを受け取らない)ピットインであり、その回数や、タイミングは自由とする。 ・『作業ピットイン』時に出来る作業内容は、『義務ピットイン』と同じである。 <p>注)『義務ドライバー交代』制度は、2014年度より廃止する。</p>		決勝 3 時間の場合	決勝 4 時間の場合	基本の義務ピットイン回数	4回	5回	ハンディー軽減対象車両のピットイン回数 ※1	3回	4回
	決勝 3 時間の場合	決勝 4 時間の場合								
基本の義務ピットイン回数	4回	5回								
ハンディー軽減対象車両のピットイン回数 ※1	3回	4回								
ピットハンディー	以下に該当する車両は「義務ピットイン」回数軽減のハンディーを受けられる。 義務ピットインの回数については、前項「義務ピットイン」を参照のこと。 <table border="1" data-bbox="406 1870 1404 1966"> <thead> <tr> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>K耐久の 新規格軽自動車 (NA660レギュレーションの車両も含む)</td> </tr> <tr> <td>GT耐久の 1Cクラスに該当する車両</td> </tr> </tbody> </table> <p>K耐久の義務ピットイン追加ハンディーは2014年度より廃止する。</p>	項目	K耐久の 新規格軽自動車 (NA660レギュレーションの車両も含む)	GT耐久の 1Cクラスに該当する車両						
項目										
K耐久の 新規格軽自動車 (NA660レギュレーションの車両も含む)										
GT耐久の 1Cクラスに該当する車両										

<p>給油作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フリー走行、予選後の給油は認められる。 ・フリー走行時、予選後、決勝中の給油は、必ず自己ピット前で行うこと。 ・給油者は給油作業前に、ピットに設置された静電気除去シートに触ること。 ・給油は金属製のガソリン携行缶を必ず使用すること。樹脂製のポリタンクの使用は禁止する。 ・1度の給油は20Lまでとする。 ・給油時は給油している横で消火器を持った消火要員を1名待機させ、消火器のノズルを給油口に向けて構えること。 ・給油者および消火要員はヘルメット、グローブ、長袖長ズボンを着用すること。着用するヘルメットはフルフェイスヘルメットの着用を推奨する。 ・給油中はエンジンを必ず切ること。 ・給油中に給油以外の作業を行うことは認められる。 ・ピット用消火器は車載用とは別に、粉末重量2.0Kg以上(又はCO2 2.0Kg以上)のものを、参加車両1台につき1本持参すること。(同一チームで2台参加の場合は2本必要)。 ・給油作業の無いチームも消火器の持参は必須とする。
<p>セーフティカー</p>	<p>競技長の決定により、レースを非競技化するためにセーフティカーが使用される場合がある。セーフティカーは、ドライバーまたはオフィシャルが危険な状況ではあるが、レースを中断するほどではない場合に使用される。</p> <p>セーフティカーの運用規定は以下の通りとする</p> <ol style="list-style-type: none"> ① セーフティカー配備の命令が下された場合、全ての有人ポストは黄旗の振動表示とSCボードを表示し、セーフティカーの活動が終了するまで保持する。 ② SCボードが提示された瞬間から、ピットロードはクローズドとなる。この際、8番ポストではSCボードと同時に「CLOSED」ボードが出される。 ③ 黄旗の振動表示とSCボードが出されたら追い越しは禁止される。各車両は前後に注意を払いながら、速度を40Km/h程度まで落として走行すること。 ④ セーフティカーは、車体の両サイドおよびリヤに「SAFETY CAR」と表示された車両を使用する。その車両はルーフに黄色回転灯を備えている。 ⑤ セーフティカーはピットエンドの待機エリアから導入される。 ⑥ セーフティカーがコースインして暫定トップ車両の前に入ったら、ピットロードはオープンされる。この際、8番ポストでは先ほど出された「CLOSED」ボードに変わり、「OPEN」ボードが出される。 ⑦ セーフティカーが活動中の各周回はレース周回として数えられ、ピットオープン時であればピットインも行うことができる。またピットオープン時で“義務ピットイン”可能な時間帯であれば、『義務ピットイン』を行うことができる。 ⑧ セーフティカー(以下SC)導入および、再スタートまでの手順については下記のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 事故発生 全ポストSCボードと黄旗振動表示。 2. ピットロードクローズドとなり、8番ポストでは同時に「CLOSED」表示を出す。 3. SCが暫定トップ車両の付近にコースイン(■は暫定トップ車両)。(基本的にSCは暫定トップ車両の少し前を狙ってコースインする。) <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>SC ← □ □ ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ……</p> </div> <p>※2 SCが暫定トップ車両の後にコースインした場合は、下記の「※2」項を参照のこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 現場では撤去作業開始。 5. SCが介入中にピットにて作業中の車両は、ピットレーン出口にてグリーンライトが点灯している時のみにコースインすることができる。グリーンライトは競技長の判断で点灯される。 6. 暫定トップ車両捕まえ作業。 暫定トップ車両がSCの直後に来るように、SCと暫定トップ車両の間にいる車両に対して、SCを追い越すよう指示を出す。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>← □ SC ← ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ……</p> </div> <p>SCから追い越しの指示は1台ずつ出すので、後続の車が付いて追い越さないように注意すること。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>← □ SC ← ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ……</p> </div> <p>SCを追い越した車両は十分に注意しながら走行し、隊列の最後尾に付くこと。</p>

『2014 K耐久/GT耐久東海シリーズ』 大会規則/安全規則 Ver.1

	<p>7. SCが暫定トップ車両を捕まえた時点でピットロードオープンとなり、同時に8番ポストでは「CLOSED」表示を下げて「OPEN」表示を出す。</p> <p>8. 事故現場の作業終了 → 再スタート可能な状況。</p> <p>9. SCがヘヤピン付近で黄色回転灯を消した後にピットインし、競技再開。</p> <p>10. コントロールラインを通過するまでは、前車を追い越してはならない。</p> <p>11. 全ポストにて、先頭車両通過時から1周回緑旗振動提示。</p> <p>※2 SCが暫定トップ車両の後ろにコースインしてしまった場合は、SCが前走車両を追い越して“暫定トップ車両捕まえ作業”を行うことがある。 SCが前走車両を追い越す場合は、パッシングと警笛で前走車に合図を送るので、合図を送られた車両は安全走行に努めて減速し、SCを先行させなければならない。</p>
赤旗時の運営方法	<p>事故によってコース上が閉鎖されたり、天候またはその他の理由で競技の継続が危険となったため、決勝レースを中断する必要がある場合、競技長は赤旗をすべての監視ポストで、またコース上の赤シグナルを提示することを命ずる。</p> <p>1) レース中断の合図が出されたら追い越しは禁止され、ピット出口は閉鎖される。 そして全車は赤旗ライン(メインタワー手前のスタートライン)の後方にゆっくりと進み、ストレート右側に寄って停止しなければならない。 ただしメインポストで初めて赤旗を見た車両は、追突を防止するためもう1周回ってから隊列の後方に停止すること。</p> <p>2) レース中断の間は、レースも計時システムも停止することはない。 ピットに入ったならば作業を行うことができる。 “義務ピットイン”の項目に定められた義務ピットインが可能な時間帯であれば、『義務ピットイン』を行うことができる。(この場合も通常の義務ピットインと同様にタイムカードを受け取ること)</p> <p>3) ストレート上で待機している車両は、レース中断の間にオフィシャルが指示し、暫定トップ車両を先頭に入れ替え(頭出し)を行う。 コース上で暫定トップ車両よりも前に停車していた車は、SCに先導されてコースを1周回り、隊列の後方に移動する。(このタイミングでピットインすることも可能である)</p> <p>4) レース再開時はSCが先導して隊列を引っ張る。その際後続車は前の車両から約1~2車身の距離を保って続くこと。</p> <p>5) SCに先導された隊列が1周を走行した後に、列最後尾の車両がピットレーン終了地点を通過するとすぐに、ピット出口のライトがグリーンに変わる。その時ピットレーンにいる車両は全て、コースに出てSC後方の車両隊列に合流することができる。</p> <p>※ピットレーンが渋滞していて、ピット作業が終了したにもかかわらず走行レーン上に合流できない車両がいる場合は、走行レーン上に並んだ順番にかかわらず車両の鼻先が前方にある方から優先的にコースに出て行くことができる。</p> <p>※ピットアウト時に、ピット作業レーンに2台の車両が並んで停まり、2台ともが出走可能な状態の場合は、屋根下ピット寄りに停まっている(先にピットインした)車両から、優先的にコースに出て行くことができる。</p> <p>6) SCが隊列走行を2周するとピットインして競技再開となる。コントロールラインを通過するまでは、前車を追い越してはならない。全ポストにて、先頭車両通過時から1周回緑旗振動提示。</p> <p>決勝終了間際にレース中断となり、チェッカー予定時刻になってもレース再開ができなかった場合は、競技長の判断でレース終了となる。この場合は、レース中断の合図が出された周回の1つ前の周回が終了した時点の結果が採用される。</p>
赤旗要素となった車両の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・赤旗要素となった車両で走行に問題がある可能性がある判断された場合は、車両はレッカー(もしくは自走)で洗車場に移動される(移動するよう指示される)。 ・洗車場に移動された車両で、ジャリや土を噛んでいる場合はそれを十分に落とし、再走行に問題が無い状態に清掃すること。 ・再走行ができる状態、もしくはピットに移動ができる状態になったならば、チーム員は管制塔までオフィシャルを呼びに行き、再走行またはピットに移動する許可をもらうこと。許可が下りない限りはピットには戻れない。 ・ピットに戻る際には必ずコースインゲートからピットロードに合流すること。 ・ピットに移動する許可が出た場合でも、その時のSC導入または赤旗中断が継続している場合は、ピットロードには戻れない。 具体的には、競技再開後に先導を終えたSCがピットインして、コースインゲート前を通過した後でないとピットロードには戻れないので、それまではコースインゲート横で待機すること。 ・ピットロードに戻った車両は“義務ピットイン”の項目に定められた義務ピットインが可能な時間帯であれば、『義務ピットイン』を行うことができる。 ・洗車場で修理作業を行うことは許されるが、ドライバー交代および、給油作業は行ってはならない。
ペナルティ	<ul style="list-style-type: none"> ・レース中に違反を犯した車両はペナルティを課される。 ・レース中に実行されるペナルティは、ドライビングスルーペナルティ、ペナルティストップ、周回数減算の3種類がある。 ・赤旗時ならびに、SC導入時には、ペナルティの消化は出来ない。(赤旗の提示を見たり、SCボードの提示を見た後に、ピットロードに入った場合はペナルティを消化出来ないが、提示を見る前にピット

	<p>トロードに入っていた場合は消化できる)</p> <p>① 『ドライビングスルーペナルティ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象車両には、メインポストで「Dボード(黒ベースに黄のD文字)」+「競技番号」が提示される。(黒旗は提示されない) ・提示された車両はピットインし、40Km以下でピットロードを通過しなければならない。 ・ドライビングスルーペナルティ実行時は自己ピットに止まることはできない。 ・ボードを提示されてから3周以内にペナルティを実行しなかった場合、以降1周経過する毎に、リザルトから1周減算のペナルティを課される。(ボード提示後、メインポストを3回通過までは減算ペナルティは付かない。例えば5回通過した場合は、2周減算となる。) <p>■『ドライビングスルーペナルティ』の対象となる主な違反行為は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「黄旗時追い越し」/「ピットロード速度違反」/「青旗無視」/「フォーメーションラップ中の車間開け過ぎ」/「リバースギヤ使用違反」 <p>※ただし競技長の判断で上記の罰則を軽減したり強化することができる。</p> <p>② 『ペナルティストップ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象車両には、メインポストで「Pボード(黒ベースに赤のP文字)」+「競技番号」が提示される。(黒旗は提示されない) ・提示された車両はピットインして、1番ピット先にあるストップエリア(白線で四角表示がある箇所)に止まり、スタッフの指示に従わなければならない。 ・スタッフの指示は「忠告のみ」、「1分停止」、「3分停止」がある。 ・ペナルティストップ実行時は自己ピットに止まることはできない。 ・ボードを提示されてから3周以内にペナルティを実行しなかった場合、以降1周経過する毎に、リザルトから1周減算のペナルティを課される。(ボード提示後、メインポストを3回通過までは減算ペナルティは付かない。例えば5回通過した場合は、2周減算となる。) <p>■『ペナルティストップ』の対象となる主な違反行為は下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 忠告のみ 「ホワイトラインカット(ピットイン部実線、ピットアウト部)」/「運転席窓開き走行」/「ハザード走行」/「危険走行」 2) 1分停止 「赤旗時の危険停止(赤旗時にメインストレートで初めて赤旗を見た車両が赤旗停止ラインで急停止した場合)」/「赤旗時追い越し」/「危険走行」/「義務ピットイン時間不足(0.1～10秒)」 3) 3分停止 「ピットエンドシグナル無視」、「ピットクローズド表示無視」 <p>※ただし競技長の判断で上記の罰則を軽減したり強化することができる。</p> <p>③ 『周回数減算』</p> <p>次のような場合、最終結果から周回数を減算する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペナルティボード提示を3周以上無視した場合(4回目から1周ずつ減算が増える) ・チェッカー10分前を切ったタイミングでペナルティを犯した場合。 ・レース後半で、何らかの事情によりドライビングスルーペナルティ、またはペナルティストップが実行出来ない場合。 <p>※減算周回数については状況に応じて競技長が決定する。減算周回数についてのクレームは一切受け付けない。</p>
チェッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・決勝終了時刻が過ぎた後、総合1位の車両を先頭にメインポストでチェッカーが振られ、決勝が終了となる。 ・チェッカーはメインポストで振られるが、順位の認定は管制塔前の計測ライン(白線)を通過した順となる。(計測ライン通過後、メインポストまでの間に追い抜いても無効である) ・決勝終了間際にレース中断となり、チェッカー予定時刻になってもレース再開ができなかった場合は、競技長の判断でレース終了となる。この場合は、レース中断の合図が出された周回の1つ前の周回が終了した時点の結果が採用される。
装備品	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーは、「ヘルメット(SNELL規格又はJIS C種が望ましい)、グローブ(自動車ドライビング用で指先まで覆うもの)、厚手の長袖と長ズボン(レーシングスーツが望ましい)、運転に適したシューズ(レーシングシューズが望ましい)」を必着のこと。 <p>※長袖、長ズボンの着用は、レースアクシデント時にケガや火傷から身を守るためであることを理解の上、厚手で燃えにくい綿素材のものを着用することを強く推奨する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レーシングスーツは安全上ダブルレイヤー以上の自動車競技用のものが望ましい。 ・走行中に袖を腕まくりすること、ズボンの裾をまくり上げることは禁止される。
準備必須品	<p>各チームは給油の有無に関わらず、下記の備品を車両1台につき1つ準備しピットに常備すること。(同一チームで2台参加の場合は2本必要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピット用消火器(車載用とは別に、粉末重量2.0Kg以上(又はCO2 2.0Kg以上)のもの) ・バケツ(水を入れてピットに置いておくこと)

『2014 K耐久/GT耐久東海シリーズ』 大会規則/安全規則 Ver.1

<p>競技番号、ゼッケン</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加車両は、大会事務局によって定められた競技番号を参加者の責任において、指定の位置、書体、大きさで記入されていなければならない。 数字はアラビア数字、書体はボールド又はゴシック体、数字のタテの長さは28cm以上とすること。 競技番号は次の通り指定された色で記入されていなければならない。 <table border="1" data-bbox="411 286 1090 383"> <tr> <td>ゼッケン</td> <td>ゼッケンベース</td> </tr> <tr> <td>黒</td> <td>白</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※形状は丸、角は問わない</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 競技番号は下記の4箇所に貼り付けること。 ① フロントフード ②③前席左右ドア ④リヤ ※リヤ部分の数字のタテの長さは28cm未満でもよい 障害者用操作装置を装着した車両は、ゼッケンベースを黄色にすること。 新年度の希望ゼッケン番号は、前年度の利用者より優先権が与えられる。前年度に参加歴の無いチームは申込順に優先権を与える。 一度取得したゼッケン番号は、その年度は優先的に使用することができる。 	ゼッケン	ゼッケンベース	黒	白	※形状は丸、角は問わない																																					
ゼッケン	ゼッケンベース																																										
黒	白																																										
※形状は丸、角は問わない																																											
<p>クラス識別ステッカー</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加車両は次の通りに指定された色のクラス識別ステッカーを、フロントガラス上部と、リヤガラスの2箇所に貼り付けなければならない。 リヤガラスに貼り付けが困難な車両は、リヤガラスの近くで後続車に見えやすい場所に貼ること。 <table border="1" data-bbox="411 725 1273 913"> <tr> <td>クラス</td> <td>色</td> </tr> <tr> <td>KNN、1C、2C</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>KNC、3C</td> <td>黄</td> </tr> <tr> <td>KNO、OP</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>KTC</td> <td>緑</td> </tr> <tr> <td>KTO</td> <td>オレンジ</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> クラス識別ステッカーは参加受け時に配布する。 前戦に貼ったステッカーが残っている車両は、それを継続使用してよい。 	クラス	色	KNN、1C、2C	青	KNC、3C	黄	KNO、OP	赤	KTC	緑	KTO	オレンジ																														
クラス	色																																										
KNN、1C、2C	青																																										
KNC、3C	黄																																										
KNO、OP	赤																																										
KTC	緑																																										
KTO	オレンジ																																										
<p>トランスポンダー (タイム計測器)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全ての参加車両は主催者が用意したトランスポンダーを車検時までに装着し、フリー走行、予選、決勝を通じて装着していなければならない。 トランスポンダーの配布は参加受け時に行い、レース終了後は受け場所まで返却すること。万一破損・紛失した場合は代金がサーキットより請求される。 トランスポンダーは車内のドアの低い位置に、上下正しい向きで、粘着テープ等で確実に固定すること。運転席側、助手席側は問わない。 																																										
<p>窓の開閉</p>	<p>サーキット走行中は運転席側の窓は閉めること。助手席および後部座席の窓は開けてもよい。ただしウィンドウセーフティネットを運転席側に装着した場合は、窓を開けて走行することが許される。</p>																																										
<p>順位の認定および完走の規定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 順位認定は、管制塔前の計測ライン上(ピットレーン上含む)でチェッカーを受けて最終周回を完了した車両に対して優先的に与えられる。 順位はチェッカーフラッグが振られた後に完了する周回数が多い車両から決定される。同一周回の場合は、管制塔前の計測ライン(ピットレーン上含む)通過順位によるものとする。 チェッカーを受けられなかった車両のうち、(各クラスの)優勝車両の走行周回数の70%以上(端数切捨て)を走行した車両は、チェッカーを受けた車両の後に順位付けされる。 走行周回数が、(各クラスの)優勝車両の走行周回数の70%未満(端数切捨て)の車両は順位の認定を受けられない。(完走扱いとはならない) 																																										
<p>賞典</p>	<p>クラスごとに表彰を行ない、総合順位での表彰は行わない。 賞典の対象台数は各クラスの参加台数によって以下の通りとする。</p> <table border="1" data-bbox="411 1532 1313 1720"> <tr> <th>クラス参加台数</th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> <th>4位</th> <th>5位</th> <th>6位</th> </tr> <tr> <td>9台以上</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> </tr> <tr> <td>7~8台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5~6台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3~4台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2台以下</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>※賞典はトロフィーと副賞となる。</p>	クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	9台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	7~8台	賞典	賞典	賞典	賞典	—	—	5~6台	賞典	賞典	賞典	—	—	—	3~4台	賞典	賞典	—	—	—	—	2台以下	賞典	—	—	—	—	—
クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位																																					
9台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典																																					
7~8台	賞典	賞典	賞典	賞典	—	—																																					
5~6台	賞典	賞典	賞典	—	—	—																																					
3~4台	賞典	賞典	—	—	—	—																																					
2台以下	賞典	—	—	—	—	—																																					
<p>シリーズポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> クラスごとの順位で毎戦ポイントを与え、1~5戦の合計をシリーズポイントとしシリーズ順位を付ける。 ポイントはクラスごとで、完走扱い車両の1位から10位までの車両にポイントが与えられる。 決勝時間3H時のポイント <table border="1" data-bbox="453 1868 1026 2022"> <tr> <td>1位</td> <td>20点</td> <td>6位</td> <td>6点</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>15点</td> <td>7位</td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>12点</td> <td>8位</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>10点</td> <td>9位</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>8点</td> <td>10位</td> <td>1点</td> </tr> </table>	1位	20点	6位	6点	2位	15点	7位	4点	3位	12点	8位	3点	4位	10点	9位	2点	5位	8点	10位	1点																						
1位	20点	6位	6点																																								
2位	15点	7位	4点																																								
3位	12点	8位	3点																																								
4位	10点	9位	2点																																								
5位	8点	10位	1点																																								

	<p>・決勝時間4H時のポイント</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>1位</td><td>30点</td></tr> <tr><td>2位</td><td>25点</td></tr> <tr><td>3位</td><td>22点</td></tr> <tr><td>4位</td><td>20点</td></tr> <tr><td>5位</td><td>18点</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>6位</td><td>16点</td></tr> <tr><td>7位</td><td>14点</td></tr> <tr><td>8位</td><td>13点</td></tr> <tr><td>9位</td><td>12点</td></tr> <tr><td>10位</td><td>11点</td></tr> </table> <p>注)完走ポイントは2014年度より廃止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントは競技番号に付くものとする。よってシーズン途中で車両の変更があった場合でも、同じ競技番号を継承すればポイントは継続する。ただし、クラスを変更した場合はポイントの継続は出来ない。 ・合計が同ポイントの場合の順位は上位得点の回数の多い順に決定される。 なお、上位得点の回数が同一である場合は、最終戦時に獲得したポイントが高い順によって決定し、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時・・・に獲得したポイントが高い順によって決定する。 <p>補足①:30点の1位を1回と20点の1位を1回獲得したチームと、20点の1位を2回獲得したチームでは、前者の方に優先権がある。</p> <p>補足②:20点の1位を2回獲得したチームと、30点の1位を1回獲得したチームでは、前者の方に優先権がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該レースにおいて失格した場合は、ポイントは獲得出来ない。 ・シリーズ順位上位チームは最終戦でシリーズ表彰をする。ただし各クラスの表彰対象は、1～5戦までの平均参加台数によって決まる。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>平均参加台数</th> <th>表彰対象台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8台以上</td> <td>シリーズ6位まで</td> </tr> <tr> <td>6～7台</td> <td>シリーズ4位まで</td> </tr> <tr> <td>4～5台</td> <td>シリーズ3位まで</td> </tr> <tr> <td>3台以下</td> <td>シリーズ1位まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平均台数は小数点以下切り上げとする。つまり平均3.1台の場合は4台と換算。</p>	1位	30点	2位	25点	3位	22点	4位	20点	5位	18点	6位	16点	7位	14点	8位	13点	9位	12点	10位	11点	平均参加台数	表彰対象台数	8台以上	シリーズ6位まで	6～7台	シリーズ4位まで	4～5台	シリーズ3位まで	3台以下	シリーズ1位まで
1位	30点																														
2位	25点																														
3位	22点																														
4位	20点																														
5位	18点																														
6位	16点																														
7位	14点																														
8位	13点																														
9位	12点																														
10位	11点																														
平均参加台数	表彰対象台数																														
8台以上	シリーズ6位まで																														
6～7台	シリーズ4位まで																														
4～5台	シリーズ3位まで																														
3台以下	シリーズ1位まで																														
再車検	<ul style="list-style-type: none"> ・クローズド、ノーマルクラスの上位入賞車両は、レース終了後に車両重量測定を行なう場合がある。指示を受けた車両は車両保管場所に停車し、重量測定の順番を待つこと。車両保管中はウエイトの載せ下ろしなどの不正を防止するため、車両に触れることを禁止する。 ・K耐久で車両重量測定の指示を受けたチームは、必要に応じてチームで準備したガソリンを注入すること。再車検前のガソリンの注入は車両保管場所で行うこと。 ・レース終了後に、暫定上位入賞車両には再車検の指示が出る場合がある。再車検でオフィシャルより作業の指示が出た場合は、チーム員がその作業を行うこと。 ・再車検にてレギュレーション違反が発覚した場合は完走扱いにならない。 																														
ウエイトハンディ	<ul style="list-style-type: none"> ・1位入賞チームは次戦にて20Kgのハンディーウエイトの搭載を義務付ける。(開幕戦には適用されない) ・ウエイトは各チームで準備すること。 ・ウエイトは十分な強度を有する単一構造体で、工具によって車室または荷物室の床に目で見えるように取り付けること。またクラッシュした際に耐えられるような方法で固定すること。 ・次戦に不参加だった場合は、次々戦には持ちこさない。 ・2戦以上連続で1位となった場合はさらに20Kgが加算される。ただし上限は40Kgとする。 ・対象となったチームは、レースの車検時に重量測定所に行き、下表に記載された方法で重量測定を受けること。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>ウエイトの重量測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>KNN, KNC, KTC, 1C, 2C, 3C</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・車両重量をもって測定する。 ・車検時に前戦の車両重量(再車検時の重量)よりも20Kg以上重いこと。(レギュレーションの最低重量ぎりぎりであっても、そうでなくても、前戦よりも20Kg以上重くなければならない) ・再度入賞してレース後に再車検を受ける場合にも、上記の重量を満たしていなければならない。 ・K耐久の東北NA660選手権のレギュレーションで参戦している車両には最低重量の規定が無いが、前回参戦時の重量に対して20Kg以上重くなければならない。 </td> </tr> <tr> <td>KNO, KTO, OP</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ウエイトは脱着式とし、単品で重量を測定する。 ・車検時にウエイト単品を重量測定所に持って行き測定してもらい、20Kg以上である承認を得ること。 ・ウエイトを車両に搭載完了したら車検員を呼び、ウエイトを封印してもらうこと。 ・車両重量は一切問わない。 </td> </tr> </tbody> </table>	クラス	ウエイトの重量測定方法	KNN, KNC, KTC, 1C, 2C, 3C	<ul style="list-style-type: none"> ・車両重量をもって測定する。 ・車検時に前戦の車両重量(再車検時の重量)よりも20Kg以上重いこと。(レギュレーションの最低重量ぎりぎりであっても、そうでなくても、前戦よりも20Kg以上重くなければならない) ・再度入賞してレース後に再車検を受ける場合にも、上記の重量を満たしていなければならない。 ・K耐久の東北NA660選手権のレギュレーションで参戦している車両には最低重量の規定が無いが、前回参戦時の重量に対して20Kg以上重くなければならない。 	KNO, KTO, OP	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイトは脱着式とし、単品で重量を測定する。 ・車検時にウエイト単品を重量測定所に持って行き測定してもらい、20Kg以上である承認を得ること。 ・ウエイトを車両に搭載完了したら車検員を呼び、ウエイトを封印してもらうこと。 ・車両重量は一切問わない。 																								
クラス	ウエイトの重量測定方法																														
KNN, KNC, KTC, 1C, 2C, 3C	<ul style="list-style-type: none"> ・車両重量をもって測定する。 ・車検時に前戦の車両重量(再車検時の重量)よりも20Kg以上重いこと。(レギュレーションの最低重量ぎりぎりであっても、そうでなくても、前戦よりも20Kg以上重くなければならない) ・再度入賞してレース後に再車検を受ける場合にも、上記の重量を満たしていなければならない。 ・K耐久の東北NA660選手権のレギュレーションで参戦している車両には最低重量の規定が無いが、前回参戦時の重量に対して20Kg以上重くなければならない。 																														
KNO, KTO, OP	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイトは脱着式とし、単品で重量を測定する。 ・車検時にウエイト単品を重量測定所に持って行き測定してもらい、20Kg以上である承認を得ること。 ・ウエイトを車両に搭載完了したら車検員を呼び、ウエイトを封印してもらうこと。 ・車両重量は一切問わない。 																														

『2014 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1

<p>抗議</p>	<p>1) 抗議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加チームは自チームが不当に処遇されていると判断した場合、これに対して抗議する権利を有している。 ・抗議は文書(書式は自由、常識の範囲内で作成)によって行い、抗議料として1件につき 10,000 円を添え、競技長宛てに各抗議の制限時間内に提出されなければならない。 ・参加車両に対する抗議書は、抗議対象となる箇所、事項を明確に記載されていなければならない。抗議が受け入れられた場合、それに必要な車両の分解／組立に要した費用は、その抗議が否決された場合は抗議提出者が支払い、その抗議が成立した場合は抗議対象者が支払うものとする。車両の分解／組立に要した費用は大会事務局が算定する。 ・役務についている競技役員は、たとえ抗議が提出されている場合であっても、それと関係なく自分の権限と義務を執行することができる。 ・審判員の判定に対する抗議は受け入れられない。 <p>2) 抗議の制限</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車検に対する抗議は決定直後に提出されなければならない。 ・予選結果およびスタート位置に対する抗議は、結果発表の 15 分以内に提出されなければならない。 ・決勝中の規則違反または過失、不正に対する抗議は、決勝終了後 30 分以内に提出されなければならない。 ・決勝結果への抗議は暫定表彰式終了後 30 分以内に提出しなければならない。 ・上記期限を過ぎた場合はいかなる抗議も受け付けない。 <p>3) 抗議の裁定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗議の審査にあたり大会審査委員会は必要に応じ、関係当事者および競技役員を証人として召喚し、陳述を求めることができる。 ・審査後ただちに裁定が下されない場合、その裁定の発表の日時と場所を明らかにして裁定発表を延期することができる。 ・裁定結果は、関係当事者(代表責任者1名)のみに口頭をもって通知される。 ・抗議の関係当事者は、裁定結果に服さねばならない。
<p>参加者の厳守事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての参加者は、大会中、大会役員の指示に従わなければならない。 ・すべての参加者は大会規則、安全規則、および車両規則を熟読して理解し、すべての規則を遵守すること。他の参加者や一般の来場者の安全を脅かすような言動をしてはならず、スポーツマンシップに則って行動しなければならない。 ・許された場所を除いて喫煙は厳禁とする。 ・すべての参加者は、主催者や大会役員および大会参加者の名誉を傷つけるような言動の一切をしてはならない。 ・事故その他障害が発生した場合、事務局は応急処置以外の責任は負えない。各自で障害保険に加入することを推奨する。

【安全規定】(全クラス共通)

・昨年からの変更点は赤色で記載してあります。

・K耐久の東北NA660選手権のレギュレーションで参戦している車両は、「★ロールケージ」、「★シートベルト」、「★前後牽引フック」、「★安全燃料タンク」、「★床」の項目については、東北NA660選手権のレギュレーションに従うこと。それ以外の項目については、当レギュレーションに従うこと。

<p>★ロールケージ</p>	<p>ロールケージの材質は、鋼管製(クロモリ製含む)でなければならない。</p> <p>① オープンクラスの車両・・・4点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。 以下の条件に当てはまる車両は、運転席側にドアバーを取り付けることが義務付けられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドアビームを取り外した車両 ・ 合成樹脂製のドアに変更した車両 ・ 標準でドアビームが無い車両 <p>② クローズドクラスおよびノーマルクラスの車両・・・ロールケージの装着を強く推奨する。 オープンカーは4点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。 ※スチール製以外の脱着ルーフおよび開閉ルーフの車両はオープンカーと見なす。 ※オープンカーは6点式以上のロールケージを装着している場合に限り、ルーフを開けて(外して)走行することが許される。 ※ロールケージの装着を推進するため、装着の有無によってエントリー代に差を設ける。</p>
<p>★シートベルト</p>	<p>4点式以上のシートベルトを装着することが義務付けられる。ベルトの幅は 3 インチのものを推奨する。ショルダーベルト後方にバックルがあるタイプの物は、極力使用しないこと。シートベルトは確実な方法で車体に固定すること。取り付けのためのボディー加工は可能だが、最小限にとどめること。</p>
<p>車載消火器</p>	<p>全ての車両は消火器を搭載することが義務付けられる。(東北NA660選手権のレギュレーションで参戦している車両も含む)</p> <p>① 仕様 消火器は粉末2Kg以上の内容量が必要である。(または「別表1」に記載してある、FIA国際モータースポーツ競技規則 付則J項 第253条に認められた物を装備してもよい)</p> <p>② 取付場所/取り外し 消火器はドライバー等が容易に取り外せる位置に取り付けなければならない。 (推奨場所は助手席の足元)</p> <p>③ 取付方法 ・クラッシュした際に耐えられるように頑丈に取り付けなければならない。(ブラケットのリベット留めは禁止される) ・取付け方向は車両の前後方向中心線に対して、出来る限り直角に近い状態にすること。 ・金属製ストラップの付いたワンタッチ金具の装着が認められる。(2箇所装着することを推奨する)</p>
<p>★前後牽引フック</p>	<p>・車両の前後に牽引フックを備えなければならない。 ・牽引フックは車両を牽引して移動するのに十分な強度を有していなければならない。材質はスチール製、またはケーブルフープ式であること。可倒式も許される。 ・牽引フックは車両が砂地に停車した時でも使用が可能な位置に極力取り付けること。 ・砂地に停車した時に牽引フックが隠れる可能性がある場合は、黄色、オレンジ色、赤色の矢印で、牽引フックの位置を明記すること。 ・牽引部は黄色、オレンジ色、赤色のいずれかであること。 ・その他の仕様についてはJAFの安全規定に合致したもの(内径φ50、断面積1平方センチ以上)を推奨する。 ※コースアウトなどによりレスキューが牽引した際に、周辺部品が破損したことについてのクレームは一切受け付けないので、取付位置や角度には十分に注意すること。</p>
<p>イグニッションスイッチ</p>	<p>イグニッションスイッチおよび、燃料ポンプスイッチは、その位置が容易に確認出来るよう黄色で明示しなければならない。</p>
<p>★安全燃料タンク</p>	<p>・全クラスとも安全燃料タンクの装着が許される。 ・安全燃料タンクはFIA公認品の使用を強く推奨する。 ・コレクタータンクを別に装着する場合は最大容量 2L までとする。 ・取り付けは当初の燃料タンクの位置、あるいは荷物室に取り付けることが許される。 ・漏出した燃料が車室内に滞留しない構造であること。また、荷物室に設置した場合、アルミ板等の難燃性材料による隔壁を取り付けなければならない。 ※その他取付けにあたっては「JAF国内競技車両規則 第4章第12条『安全燃料タンク』」の項を参考にする。</p>

『2014 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1

ライト	ガラス製のライト類には無色透明の飛散防止テーピングを施さなければならない。(プラスチックレンズは不要)
★床	防音材、防振材は取り外すことが許される。 カーペットは取り外すことを推奨する。
バッテリー、オルタネーター	バッテリーおよびオルタネーターの+端子は、クラッシュ時の火災を防止するために、テーピングして絶縁すること。(純正のゴムカバーも可だが簡単にめくれないようにテープで巻くこと) オープンクラスで「ドライタイプでないバッテリー」を室内に移設する場合は、頑丈なカバーでバッテリー全面を覆うこと。
オイルキャッチタンク	ブローバイ経路を変える場合、大気開放は禁止とし、オイルキャッチタンクで受けること。 オイルキャッチタンクの取り付け方法は、針金やテープなどによる暫定的なものであってはならない。 容量は2L以上を推奨する。
ウインドウネット	装着を強く推奨する。 (運転席に装着した場合は窓を開けて走行することが許される) ネットはレース用として販売されている物、又は同等の強度・品質・寸法を持つものに限る。 ゴルフネットやバイクのラゲッジネットなどの使用は認められない。

※上記に記載の無い項目について安全対策を施す場合は、JAF国内競技車両規則を参考にすること。

別表1

参考)2013年国際モータースポーツ競技規則 付則J項 第253条 抜粋	
7.3.2) 認められる消火剤	AFFF、FX G-TEC、Viro3、粉末消火剤、FIAが公認したその他の消火剤
7.3.3) 消火剤の最少容量	AFFF:2.4L FX G-TEC:2.0Kg Viro3:2.0Kg Zero360:2.0Kg 粉末:2.0Kg